

# 環境活動レポート

平成21年度

平成22年10月21日



エコアクション21

認証・登録番号 0000631

長野県箕輪町役場

## 目 次

町長メッセージ .....	3
箕輪町役場は全国の地方自治体で初めてエコアクション 2.1 の認証を取得しました .....	4
箕輪町エコアクション 2.1 環境トピックス .....	4
箕輪町エコアクション 2.1 推進体制 .....	5
箕輪町の概要 .....	6
エコアクション 2.1 対象組織 .....	6
環境方針 .....	7
箕輪町役場エコアクション 2.1 組織図 .....	8
環境目標と取組結果及びその評価 .....	9
全体目標と取組結果、その評価 .....	9
各課事業の環境目標と取組結果、その評価 .....	10
環境管理責任者による評価と見直し .....	15
町長による全体の評価と見直し .....	17
水質汚濁、野焼きなどの苦情・問い合わせ .....	17
環境関連法規の取りまとめ（遵守状況チェック表） .....	18
環境上の緊急事態の想定結果及びその対応策 .....	20
環境上の緊急時訓練結果 .....	20
平成 21 年度エコアクションデータ .....	21

## 町長メッセージ

# 「環境にやさしく安全・安心なまち箕輪を目指して」

箕輪町長 平澤 豊満

### 太陽光発電システムの導入

箕輪町では平成 22 年、役場庁舎と全小中学校に太陽光発電システムを導入しました。町関連施設では、すでに設置が済んでいる消防署・地域交流センター、げんきセンターと合わせ現在 9 施設で太陽光発電システムが稼動しています。

箕輪町役場庁舎は屋上に太陽光パネルを設置しました。パネルは 30 度の傾きをつけることで発電効率を良くするだけでなく、正面玄関前駐車場からパネルがよく見えるようにしています。小中学校に設置した発電状況を示す大型液晶モニターは二酸化炭素削減量や発電量を表示する際、杉の木や蛍光灯の本数に換算し、子どもにもわかりやすい表示としています。



住民のみなさんに環境への取り組みを知っていただくことで、町ぐるみで環境活動の推進に取り組んでいきたいと考えています。

### セーフコミュニティとエコアクション

箕輪町は平成 21 年 12 月に WHO (世界保健機関) の世界認証であるセーフコミュニティへの取り組みを宣言しました。セーフコミュニティは外傷(けが)の予防を通じて安全・安心なまちづくりを実現する取り組みです。

セーフコミュニティの推進によりけがによる医療廃棄物を削減することができます。また安全・安心を妨げる問題を解決することで、事務処理のために必要だった紙やガソリンなども削減できます。一見つながりがないように思えますが、セーフコミュニティとエコアクションは関連があるのです。

セーフコミュニティ認証取得の取り組みを通じて環境活動にも貢献していきたいと考えています。

### 安全・安心の理想郷へ

最近、温暖化など自然破壊が問題となっていますが、猛暑や集中豪雨など自然破壊の影響を身近に感じるようになってきた気がします。私たちの住んでいる地球が崩壊してしまっは「安全・安心」は到底実現できません。

私はセーフコミュニティ活動により、箕輪町を「安全・安心の理想郷」にしたいと考えています。この理想郷を実現するためには「エコアクション 21」の活動が必須なのです。

箕輪町役場は全国の地方自治体で初めてエコアクション21の認証を取得しました。



エコアクション21  
認証・登録番号 0000631

### エコアクション21とは

エコアクション21は、ISO14001をベースとして構成された環境経営システムです。環境省が推奨しています。

### エコアクション21に取り組むメリット

- ・ 環境にやさしいまちづくりのシンボルになります。 ・ 職員の意識向上につながります。
- ・ 環境活動を通じてコスト削減も実現できます。

箕輪町は全国の市町村で初めて平成18年3月6日に認証を取得しました。

### 【箕輪町エコアクション21環境トピックス】

#### 役場庁舎と全小中学校に太陽光発電システムを導入しました

箕輪町では平成22年に役場庁舎と町内全小中学校の屋上に太陽光発電システムを設置しました。施設で使用する電力量の一部をまかなう事で二酸化炭素の削減を行います。箕輪町役場庁舎では40kw規模、小中学校では6校で合計約245kw規模の太陽光発電システムをそれぞれ設置しています。使用した太陽光パネルは役場と学校を合わせて1,600枚です。



役場庁舎

役場庁舎では蓄電池システムを備えており、停電時や災害時に電気を使えるようになっています。また庁舎内にLED照明を38基設置、太陽光発電システムと複合的に活用し、年間約23トンの二酸化炭素削減を見込んでいます。

小中学校のシステムは発電量や二酸化炭素削減量を「蛍光灯 本分」「杉の木 本分」といった表記でディスプレイ画面に表示し、子どもにもわかりやすいシステムとなっています。



学校のモニター



箕輪中学校



箕輪中部小学校



箕輪北小学校



箕輪東小学校



箕輪西小学校



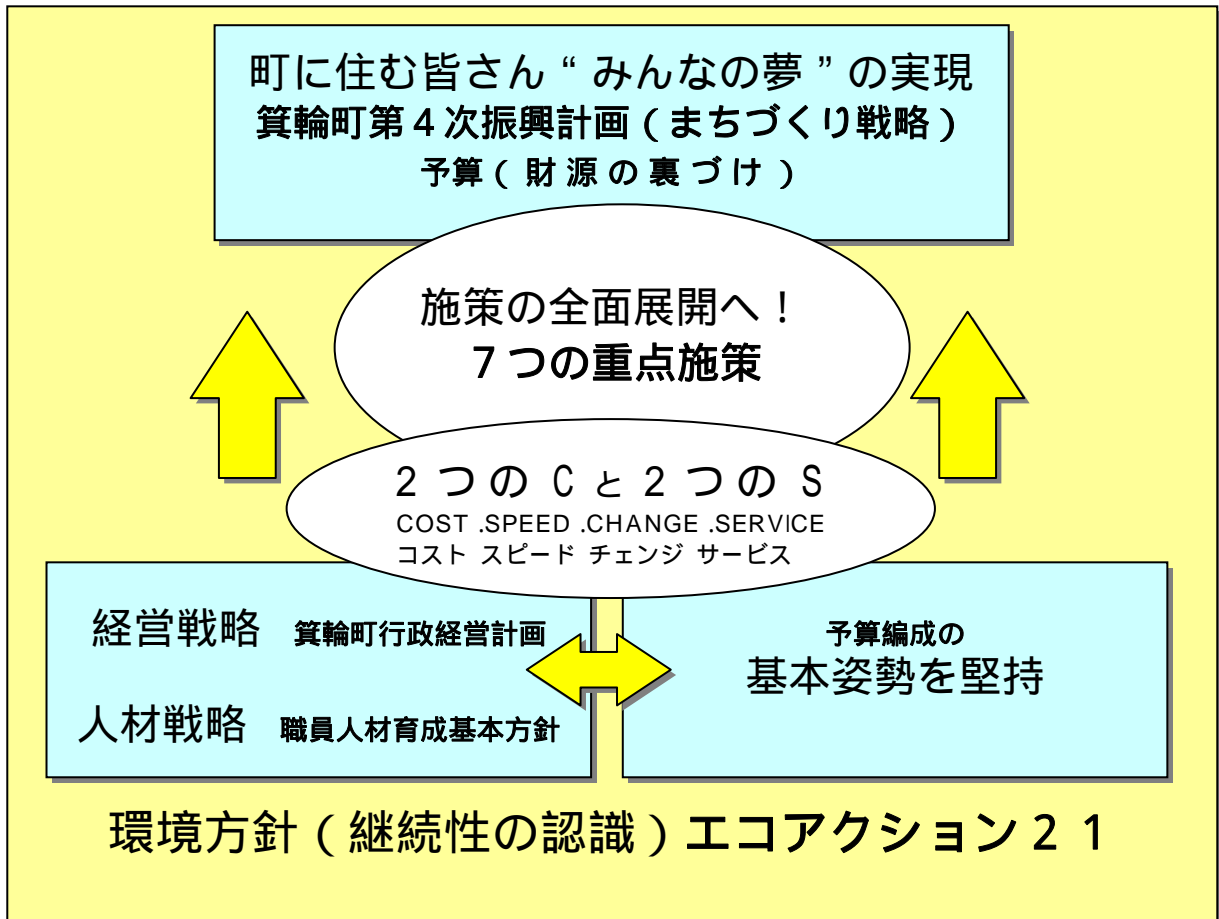
箕輪南小学校



役場LED照明

## 【箕輪町エコアクション 2 1 推進体制】

エコアクション 2 1 は環境に配慮するだけのシステムではありません。箕輪町第 4 次振興計画や箕輪町行政経営計画、人材育成方針などと連携した環境経営システムです。



箕輪町第 4 次振興計画を実現するため、町はエコアクション 2 1 の P D C A サイクルを基礎とし、施策を進めていきます。

環境に配慮することで無駄を省き、コストの削減にも努めます。



# 箕輪町の概要

箕輪町は南アルプスと中央アルプスに抱かれた長野県伊那谷の北部に位置する田園工業都市として発展している町です。

昭和 30 年に三町村が合併して「箕輪町」が発足しました。

また近年では首都圏を中心とした先進開発型企業の進出が活発となり、産業分野の先端技術が集結し、ハイテクタウンへと変貌しています。

21 世紀に向け、農商工の調和と住む人々が主役のまちづくりを基本に、夢とロマンあふれる未来型環境の整備を創造している町です。

町 長	平澤豊満
人 口	25,827人(2010年9月1日現在)
予算額	8,370,000千円(平成22年度)

## エコアクション21対象組織

組織名	箕輪町役場、町内保育園、町内小学校、文化センター、地域交流センター、図書館、博物館、消防署、情報通信センター、保健センター
所在地	(箕輪町役場庁舎)長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10298番地
業務内容	行政事務 総務課、経営企画課、税務課、収納対策室、住民環境課、保健福祉課、子ども未来課、産業振興課、建設水道課、会計課、議会事務局、箕輪町土地開発公社事務局、教育課、生涯学習課、消防室
人員数	(箕輪町役場庁舎)464人
建物面積	(箕輪町役場庁舎)5,193㎡
環境管理責任者	副町長 桑沢昭一
環境管理事務局	総務課総務広報係、住民環境課生活環境係
連絡先	電話 0265-79-3111 Fax 0265-79-0230



# 環境方針

## 《基本理念》

箕輪町は中央アルプス・南アルプスを望み、豊かな水と緑に恵まれた町です。この豊かな自然は先祖から私たちが受け継いできた大切な財産です。

しかし経済活動の発展とライフスタイルの変化の代償として身近な環境問題はもとより、地球温暖化やオゾン層の破壊など、非常に広範囲・長期間にわたって地球環境に影響を与え将来の世代に深刻な影響を及ぼすおそれのある問題が生じてきました。

私たちはあらためて自然のもたらす恵みに深く思いを巡らすとともに、環境が、大気、水、土壌など自然系の均衡と循環から成り立っていることを認識し直さなくてはなりません。

箕輪町は人と自然とが共生できる社会の構築を目指します。

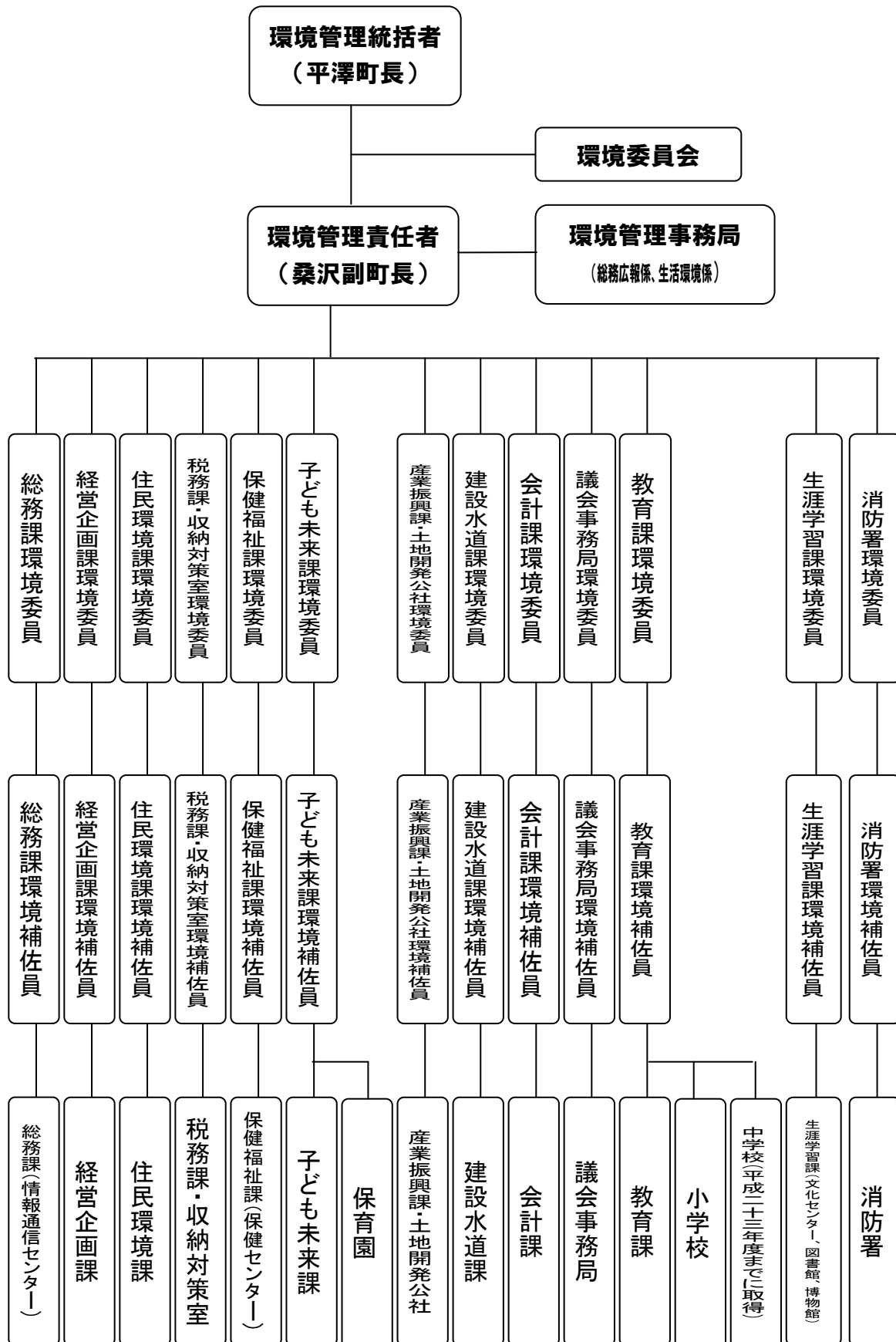
## 《行動指針》

- 1 業務活動における省資源・省エネルギーを実践し、電気・石油・水・紙の使用量を減ずることに努めます。
- 2 また、リサイクルやグリーン購入を積極的に行い、廃棄物の排出量を減ずることに努めます。
- 3 環境関連の法令及びその他の要求事項を遵守し、一層の環境保全に取り組みます。
- 4 箕輪町環境基本計画に基づいて、環境にやさしい社会を実現するための施策を推進します。
- 5 環境目標、環境活動計画を定め、かつそれを定期的に見直すことにより継続的な環境改善や汚染の防止に努めます。

平成 17 年 1 月 20 日

箕輪町長 平 澤 豊 満

# 箕輪町役場エコアクション21組織図





# 環境目標と取組結果及びその評価

## 【全体目標と取組結果、その評価】

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、印刷用紙購入量の各項目について前年度比1%減少させます。

### 平成20年度と平成21年度の比較

前年度比1%以上減少（目標）した項目をA、前年度比0～1%減少した項目をB、前年度比増加した項目をCと評価しました。

	平成20年度実績	平成21年度目標	平成21年度実績	前年度比	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	260,532	257,926	243,222	6.6%減	A
廃棄物排出量(t)	63	62	80	26.9%増	C
総排水量(m <sup>3</sup> )	988	978	929	5.9%減	A
印刷用紙購入量 (kg)	10,725	10,617	10,411	2.9%減	A

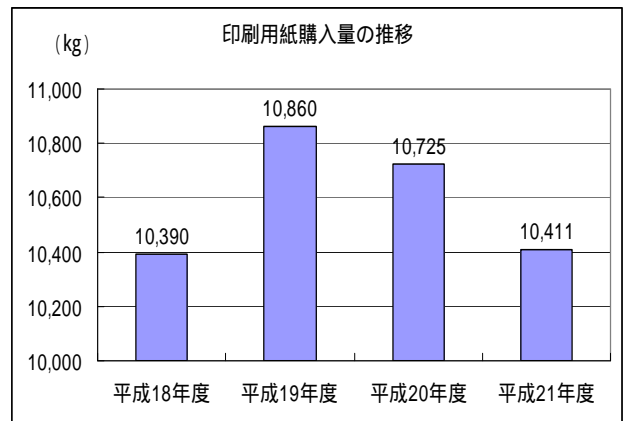
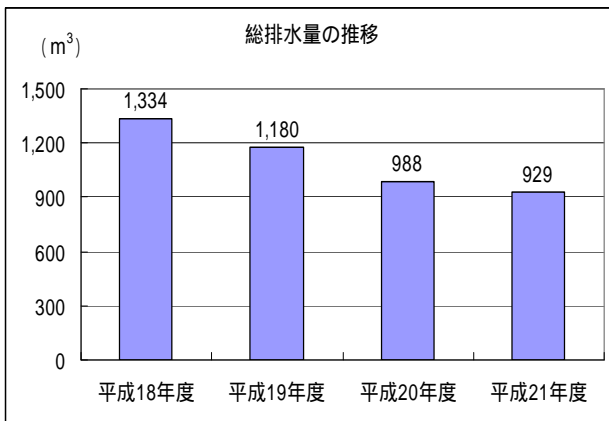
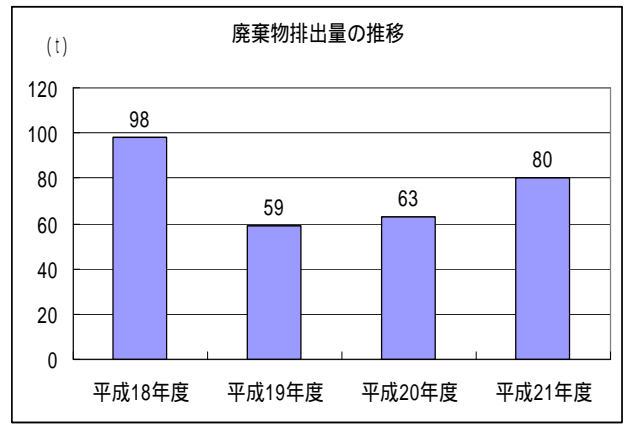
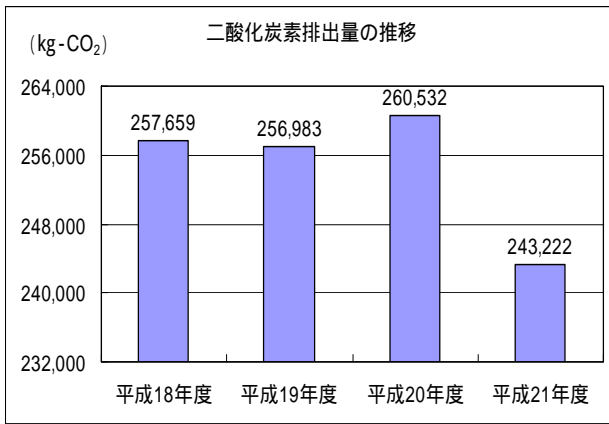
平成20年度と平成21年度を比較すると、環境目標4項目のうち、増加項目1、減少項目3でした。

## 【参考】平成18年からの実績値と平成18年度と平成21年度の比較

平成18年度実績比3%以上減少（目標）した項目をA、0～3%減少した項目をB、増加した項目をCと評価しました。

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成18年度 - 平成21年 度比	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	257,659	256,983	260,532	243,222	5.6%減	A
廃棄物排出量 (t)	98	59	63	80	18.4%減	A
総排水量 (m <sup>3</sup> )	1,334	1,180	988	929	30.4%減	A
印刷用紙購入量 (kg)	10,390	10,860	10,725	10,411	0.2%増	C

平成18年度と平成21年度を比較すると、環境目標4項目のうち、増加項目1、減少項目3でした。



【各課事業の環境目標と取組結果、その評価】

課名	実施内容	平成 21 年度の 目標 (期待値でも可)	評価の方法	年度末達成 状況	備考
総務課	庁舎灯油使用量の削減 (エアコン適正温度調整) (第4次振興計画第4章第1節未来につなげる環境づくり)	灯油使用量を 前年比 5%削減	前年度比 5% 削減できれば 可	達成	H20 32,000 H21 28,000 12.5%削減
	役場ノーカーデーの実施 (第4次振興計画第4章第1節未来につなげる環境づくり)	月 1 回実施	月 1 回実施で できれば可	達成	H22 は個々の実 施率を上げる

課名	実施内容	平成 21 年度の 目標 (期待値でも可)	評価の方法	年度末達成 状況	備考
経営企画課	新財務システムを活用した予算要求資料の簡略化によるペーパーレス化を実行 (第 4 次振興計画第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構築)	旅費調書・備品調書の廃止	両調書の廃止	達成	【年間成果】 旅費調書 1 予算あたり 60 枚×コピー 5 枚×予算回数 5 回 = 1,500 枚 備品調書 1 予算あたり 10 枚×コピー 5 枚×予算回数 5 回 = 250 枚
住民環境課	河川等の水質調査 (第 4 次振興計画第 4 章第 1 節未来につなげる環境づくり)	町内の河川水質についての調査	年 1 回実施で可	達成	・河川水質調査 13 箇所 ・湧水水質調査 3 箇所 ・地下水水質調査 9 箇所
税務課 収納対策室	両面印刷の推進 使用済用紙の再利用 (第 4 次振興計画第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構築)	毎週のミーティングで確認	職員に周知できれば可	達成	
	無駄な電気の削減 長時間の離席時はパソコンを切る (第 4 次振興計画第 4 章第 1 節未来につなげる環境づくり)	毎週のミーティングで確認	職員に周知できれば可	達成	
保健福祉課	健康づくりの推進 (健康な生活を送ることで医療廃棄物など無駄な廃棄物を減らす。) (第 4 次振興計画第 2 章第 1 節健康づくりの推進、第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構築)	健康アカデミー 120 回以上開催	120 回以上で可	達成	年間 139 回開催

課名	実施内容	平成 21 年度の 目標 (期待値でも可)	評価の方法	年度末達成 状況	備考
子ども未来課	園児への環境教育 (第 4 次振興計画第 2 章第 4 節子育て支援児童福祉の充実、第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構築)	園児が、ごみの分別をすることができる。 ・燃えるごみ ・燃えないごみ ・プラ	9 園実施で可	達成	9 園全園で実施 家庭への広がりが見られた
産業振興課	環境負荷軽減技術導入促進事業 (水稻種子の消毒に農薬使用をやめ、温水を使用する温湯種子消毒機の導入) (第 4 次振興計画第 4 章第 1 節未来につなげる環境づくり、第 5 章第 1 節時代にふさわしい農業の振興)	種もみ取扱量 20,000Kg / 年	種もみの量	達成	20,756Kg
	堆肥銀行事業 (自然にやさしい循環型農業の確立をめざし、土作りのための有機堆肥施用の促進を図る) (第 4 次振興計画第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構築、第 5 章第 1 節時代にふさわしい農業の振興)	堆肥製造供給量 250トン / 年	販売量で確認	未達成	210トン / 年 副資材であるオガコの不足により生産量が昨年より確保できなかった
	家畜畜舎環境巡視事業 (家畜畜舎の環境巡視を行い、ハエや悪臭の発生防止の畜舎消毒や衛生的な環境づくりを指導) (第 4 次振興計画第 4 章第 2 節美しく住みよいまちづくり、第 5 章第 1 節時代にふさわしい農業の振興)	注意指導件数 3件以下	指導件数	未達成	4件 35箇所を巡回 / 年1回 昨年同様、悪臭発生防止の注意指導件数が多かった

課名	実施内容	平成 21 年度の 目標 (期待値でも可)	評価の方法	年度末達成 状況	備考
産業振興課	里山林整備事業 (除伐・間伐を行い里山の景観 保全と育林による CO2 吸収量 の増加) ( 第 4 次振興計画第 4 章第 1 節未来につなげる環境づく り、第 5 章第 2 節森林整備の 推進)	整備面積 112ha / 年	整備面積	達成	140.98ha / 年
建設水道課	リサイクル材使用 ( 第 4 次振興計画第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構 築)	公共事業・工 事においてリ サイクル材の 使用を推進す る。	工事毎集計表 に記入して評 価	達成	リサイクル材使 用
	廃材処理(分別解体等) ( 第 4 次振興計画第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構 築)	工事完成時に マニフェスト等 で処分結果を 確認する。	工事毎集計表 に記入して評 価	達成	廃材処理(分別 解体等)
会計課	新システム導入による会計処 理における印刷の削減 ( 第 4 次振興計画第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構 築)	新システム導 入	新システム運 用で可	達成	具体的な数値で は出ないが、伝 票の確認など各 課で印刷してい たものがパソコン 画面で確認で きるようになった。
議会事務局	音声認識システム導入による カセットテープ削減 ( 第 4 次振興計画第 4 章第 3 節快適な循環型社会の構 築)	50 本以上 削減	50 本以上 削減できれば 可	達成	定例会 4 回 52 本 臨時会 6 回 14 本 合計 66 本 削減

課名	実施内容	平成 21 年度の 目標 (期待値でも可)	評価の方法	年度末達成 状況	備考
教育課	小中学校の環境教育 (第4次振興計画第4章第1節未来につなげる環境づくり、第6章第1節生きる力を育成する学校教育の推進)	学級、児童会、地域活動における環境教育の取り組み	6小中学校で実績あれば可	達成	環境学習児童会取り組み空き瓶、空き缶回収全小中学校で実施
		雨水利用タンク設置	1箇所設置実績あれば可	達成	箕輪南小学校に設置
生涯学習課	会議室等施設使用者にエアコン適温設定をお願いする (第4次振興計画第4章第1節未来につなげる環境づくり)	会議室等施設使用時のエアコン設定を実施	6会議室で適温設定を実施	達成	適温設定の表示掲示
博物館	浄化槽稼動タイマー設置による電気使用量の削減 (第4次振興計画第4章第1節未来につなげる環境づくり)	電気の使用量を前年同時期3%削減	前年同時期比3%削減できれば可	達成	H20 26,837kwh H21 25,935kwh (いずれも2月期まで)
	自然観察会や展示を通じて、認識や意識の向上を図る (第4次振興計画第4章第1節未来につなげる環境づくり、第6章第1節生きる力を育成する学校教育の推進、第6章第7節文化財を活かした博物館活動の推進)	子供から大人まで参加できる観察会などを通じて、自然に親しみ物を大切にする気持ちを育んでいく。	月1回実施できれば可	達成	博物館内外で年間実施
図書館	共用パソコン不使用时の電源OFF (第4次振興計画第4章第1節未来につなげる環境づくり)	月初めのミーティングで実施を確認する	実施回数/目標回数 = 実施率が100%以上で可	達成	

課名	実施内容	平成 21 年度の 目標 (期待値でも可)	評価の方法	年度末達成 状況	備考
消防署	火災予防推進 (第 4 次振興計画第 4 章第 1 節未来につなげる環境づくり、第 4 章第 7 節消防・救急・救助体制の強化)	広報、火災講話を通じ火災予防を呼びかけ火災件数の減少により CO2 排出量の抑制に努める。	火災件数の前年比による (以下なら可)	達成	平成 20 年 火災件数 7 件 平成 21 年 火災件数 7 件 (建物火災 4 2 件に減少)

環境管理責任者による評価と見直し

【問題点の指摘と是正処置及び予防処置】

【平成 21 年度実績】

平成 20 年度と平成 21 年度と比較して増加した項目

項目	問題点	原因・理由	是正処置及び予防処置
廃棄物排出量の増加	庁舎内外のごみ排出量増加	各小中学校の器具整理による廃棄物の増加など	廃棄物回収の実態についてエコアクション 2.1 事務局で確認を行う。施設ごと排出量の把握につとめ、削減できる場所があれば削減に努める。 再利用できるものがあれば施設管理者へ指導を行う。

ごみの収集実態調査を行い、各施設でどの程度のごみを排出しているか、分別が出来ているか等の調査を行いました。

その結果、突出した量のごみを出している施設はないことがわかりました。ただし、一部の施設で資源化できるごみが捨てられていました。

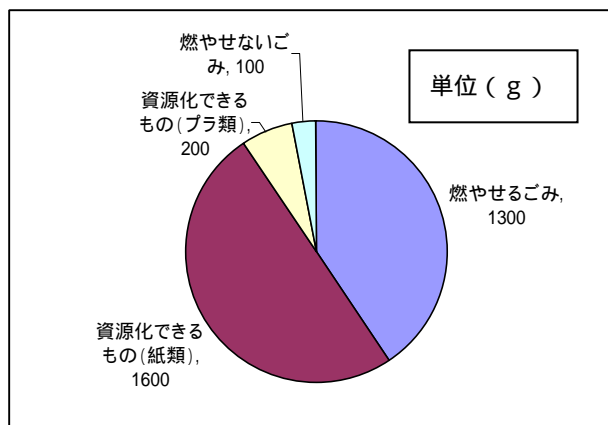


調査結果を元に、町内施設の中で廃棄物排出量が最も多い役場庁舎のごみ内容調査を行いました。

調査は出されたごみのうち 1 袋を抽出し、事務局 3 人で内容を調べました。

その結果、ごみ 3,200 g のうち、再資源化できるもの 1,800 g と燃やせないごみ 100 g が

混じていました。これらのごみについて改善を行えばごみが半減できる可能性があることがわかりました。またごみ置き場に鍵がかかっていないため、一般のごみが2袋ほど持ち込まれていることもわかりました。



この結果を受けて、環境委員会で、課員へ課ミーティングなどの機会に分別に関する指導を行うよう徹底しました。

(紙コップは自動販売機横の回収ボックスに入れる、紙くずは封筒に入れ再生紙にまわすなど)

#### 平成 18 年度と平成 21 年度を比較して増加した項目

項目	問題点	原因・理由	是正処置及び予防処置
紙使用量の増加	コピー用紙使用量の増加	業務システムの変更により、今まで外部機関である情報センターで打ち出していた帳票を役場内で印刷するようになったため 役場資料やパンフレット類について、外部委託から内部印刷への割合が増えたため	印刷資料の枚数削減のためさらに各課で努力する。 事務局でコピー印刷枚数の削減呼びかけ



## 町長による全体の評価と見直し

コメント	<p>二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量は4年間で削減しており、エコアクション21への取組み効果が出ている。</p> <p>印刷用紙使用量が増加したのは、業務システムが切り替わり、今まで外部機関の情報センターで打ち出していた帳票を役場で打ち出すようになったことと外部委託のパンフレット等について内部印刷の割合を増やしたためだが、資料を作成する際は枚数が減らせるよう工夫してほしい。</p> <p>ここ2年廃棄物の排出量が増加しており、廃棄物の中に再利用できるものがないか検討を進めてほしい。</p> <p>環境方針は平成17年から変更しておらず、平成22年度中に振興計画や環境基本計画などと整合性を取りつつ見直しを行う。</p> <p>環境目標は廃棄物排出量が増加しているため、平成22年度以降の廃棄物排出量の目標は平成19年度実績を基準に年1%削減としてほしい。</p> <p>環境経営システム全般については特に見直しの必要はない。現在の活動を継続する。</p>
------	---

## 水質汚濁、野焼きなどの苦情・問い合わせ

役場住民環境課によせられた箕輪町の水質汚濁、不法投棄、野焼きなどの苦情件数は以下のとおりです。

### 平成21年度住民環境課に問い合わせがあった水質汚濁、野焼きなどの件数

項目	件数
水質汚濁	3件
大気汚染	0件
騒音・振動	5件
悪臭	1件
土壌汚濁	0件
野外焼却	9件
不法投棄	35件
その他	0件
合計	53件

環境関連法規等の取りまとめ(遵守状況チェック表)

区分	法規制名	該当する要求事項	該当範囲	担当部署	遵守評価		是正方法
					遵守状況	判定	
庁舎管理関連法規	廃棄物処理法	保管場所に60cm×60cmの表示をする	廃棄物保管場所	総務課 施設管理課	表示がされている		
		保管場所では産業廃棄物が飛散、流出、地下浸透しないようにする			廃プラ保管場所に囲いあり		
		収集運搬・処理業者との契約、許可証写し保管	産業廃棄物(廃プラ)		役場総務課に契約書保管		
		産業廃棄物マニフェストの交付			マニフェスト発行		
		アスベスト(特別管理産業廃棄物の管理表による管理)	庁舎屋上地下アスベスト		マニフェスト交付 平成18年度対策完了		
	グリーン購入法	公的機関は率先して環境物品等(環境負荷低減に資する製品・サービスの調達を推進しなくてはならない)	消耗品の購入		事務用消耗品は出来る限りグリーン購入法適合品を購入。		
		調達基準の作成			独自の調達基準は作成している。		
	家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの処分の際、小売業者に処分料を支払い適切に引き渡す	庁舎内の該当家電製品の処分時		平成21年度は処分なし 処理業者へ適切な引渡しをするよう指導		
	自動車リサイクル法	自動車リサイクル料金の支払い	公用車購入・車検時		平成21年度新車購入 分リース料金にリサイクル料金込		
	騒音規制法	エアコン室外機の規制基準の遵守	エアコン室外機		原動機出力7.5W以下 近隣での騒音測定50db以下		
	水質汚濁防止法	事故時の応急処置、届出	貯油タンクタンク容量 9.7キロリットル 灯油		年1回貯油タンクからの 配管燃料漏れを想定した 訓練実施		
	消防法	定期点検の実施及び記録の作成保管	貯油タンクタンク容量 9.7キロリットル 灯油		業者点検委託年1回実施		
		危険物管理者の設置			危険物管理者の設置 及び表示		
	長野県地球温暖化対策条例	駐車場利用者にアイドリングストップを行うよう掲示などの方法により呼びかけを行う	役場庁舎駐車場 関連施設駐車場		役場庁舎、関連施設 (保育園、診療所、博物館、文化センター、図書館)にアイドリングストップの掲示		
食品リサイクル法	食品廃棄物の再生利用を推進する。	学校、保育園給食の 生ごみ	総務課 住民環境課	平成21年度給食の生ごみはすべて堆肥化リサイクル処理			

区分	法規制名	該当する要求事項	該当範囲	担当部署	遵守評価		是正方法
					遵守状況	判定	
公共工事 関連法規	建設リサイクル法	建築物等に係る分別解体等及び再資源化等(県への報告)	町公共工事	建設水道課 産業振興課	分別解体、リサイクルの実施、県への報告実施		
	グリーン購入法	コンクリート、アスファルト等の建築物を解体する際は廃棄物を現場で分別し、再利用することを業者に義務づける。			残土、コンクリート、アスファルト廃材を再利用できるように処分費、運搬費を計上している。		
	騒音規制法	建設機械、設備は排出ガス対策型機械使用を原則			一般工事中建設機械について排出ガス対策型建設機械を原則使用		
環境保全・ 創造関連法規	環境基本法	地方公共団体は、基本理念の通り、環境の保全に関し、国の施策に準じた施策及びその他のその地方公共団体の区域の自然的社会的条件に応じた施策を策定し、及び実施する	環境行政全般	住民環境課	箕輪町環境基本計画(平成12年4月) 環境基本計画の策定(平成19年度改訂)		
	地球温暖化対策推進法	地方公共団体は、その区域の自然的社会的条件に応じた温室効果ガスの排出の抑制等のための施策を推進する	環境行政全般 エコアクション21	住民環境課 総務課	環境基本計画の策定(平成19年度改訂) エコアクション21の取り組み		
	循環型社会形成推進基本法	地方公共団体は循環資源の適正な循環利用及び処分が行われることを確保するために必要な措置や施策を実施する	環境行政全般	住民環境課	廃食用油リサイクルなど		
	環境配慮促進法	地方公共団体は、自らの環境配慮等の状況を公表するように努めるとともに、その区域の自然的社会的条件に応じた環境に配慮した事業活動の促進のための施策を推進するように努めるものとする。	環境行政全般 エコアクション21	住民環境課 総務課	環境活動レポートインターネット上の公開 エコアクション21イニシアティブプログラム		
	環境配慮契約法	地方公共団体が契約を締結する際には、従来からの価格のみを考慮する仕組みを改め、価格に加え、温室効果ガス等の排出を考慮する(電気の購入、公用車の購入、ESCO事業、庁舎の設計など)	公用車購入 庁舎管理	総務課 経営企画課 住民環境課	平成21年度新規購入公用車は環境配慮車両を指定(ハイブリッド車2台) ハイブリッド以外の車にもできるだけ環境負荷が少ないものを採用 今後、電気の購入、ESCOなども環境を配慮した契約を推進すべき		
	環境保全活動・環境教育促進法	地方公共団体は、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関した施策を策定し、及び実施するよう努めるものとする 地方公共団体は環境教育の推進に関する方針、計画等を公表する。また学校教育及び社会教育における環境教育の推進に必要な施策を講ずる	学校、保育園 住民向け環境シンポジウム	学校教育課 住民環境課	各小中学校における環境教育の実施 保育園でのこみ分別指導		

# 環境上の緊急事態の想定結果及びその対応策

1. 施設名 箕輪町役場庁舎 給油パイプ

2. 想定される環境影響内容

地震等により給油パイプが破損、灯油が漏れ出すことによる土壌汚染、悪臭、水質汚濁。

3. 対応策

日常的な対応策

- ・ 吸着マット等を配備し、緊急事態にすぐ対応できるようにする。

事故発生時の対応策

- ・ 給油パイプからの灯油の漏れを確認したら第一発見者は総務課総務係または宿日直へ連絡する。宿日直は総務係職員へ連絡する。
- ・ 給油設備のバルブを閉め、業者へ連絡する。
- ・ 漏れ出した灯油については吸着マット、中和剤などを利用し土壌汚染が拡大しないよう対策をする。
- ・ 規模が大きく役場職員だけで対応できない場合は消防署・警察へ通報する。近隣住民の避難を呼びかける。

事後対応策

- ・ 灯油回収の際に使用した吸着マットは適切に処理をする。
- ・ 漏れ出した灯油について油回収業者に再処理を依頼する。

## 環境上の緊急時訓練結果

1. 訓練日 平成 21 年 11 月 30 日 (月) 午前 11 時 00 分 ~ 午前 12 時 00 分

2. 訓練場所 役場更衣室西側暖房用オイルパイプ付近

3. 参加人員 10 人 (総務課総務広報係、住民環境課生活環境係)

4. 訓練内容

地震が発生。役場庁舎暖房用オイルパイプが破損し、灯油が漏れ出したことを想定し、油吸着訓練を行った。

【油吸着訓練】

- ・ 吸着マットの設置してある場所 (宿直室) を確認した。
- ・ オイル漏れが起きた場所を想定して吸着マットの設置訓練を行った。
- ・ 手順書に従い実施した。訓練、テストの結果手順書どおりに実施でき特に問題はなかった。

平成21年度エコアクションデータ(環境改善計画書兼進捗管理書)

役場総合

環境目標														排出量(kg-CO2)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計
1. 二酸化炭素 排出量削減	H20実績値(電気使用量:kwh)	24,150	16,396	17,436	17,075	21,004	18,998	15,042	18,605	25,970	23,070	29,978	28,398	256,122	96,814
	H21実績値(電気使用量:kwh)	24,991	17,322	17,118	16,119	19,749	20,132	14,693	19,437	24,788	25,077	30,541	27,054	257,021	97,154
	H20実績値(ガソリン使用量:l)	2,410.1	2,553.1	2,672.7	2,980.6	2,478.1	1,769.0	3,119.1	2,551.2	2,770.2	2,065.3	2,456.3	1,819.9	29,646	68,827
	H21実績値(ガソリン使用量:l)	2,448.2	1,964.1	2,417.7	2,334.9	2,273.5	2,118.9	2,570.3	2,405.3	2,124.0	1,778.9	2,226.4	1,677.5	26,340	61,152
	H20実績値(灯油使用量:l)	4,000	0	0	4,000	0	0	4,000	0	4,000	4,000	8,000	4,000	32,000	79,742
	H21実績値(灯油使用量:l)	0	0	0	4,000	0	0	0	4,000	4,000	4,000	8,000	4,000	28,000	69,774
	H20実績値(軽油使用量:l)	117.5	246.6	591.7	646.3	263.4	131.3	1,157.2	697.4	196.0	443.5	448.5	131.5	5,071	13,153
	H21実績値(軽油使用量:l)	45.7	147.0	284.1	535.5	610.5	251.0	1,130.4	662.3	251.4	474.5	410.3	131.5	4,934	12,798
	H20実績値(LPG使用量:kg)	80	39	19	11	37	31	16	19	87	93	112	121	665	1,996
	H21実績値(LPG使用量:kg)	121	51	16	19	29	69	13	18	66	137	121	121	781	2,345
	H20二酸化炭素排出量														260,532
	H21二酸化炭素排出量														243,222
2. 廃棄物削減	H20実績値(t)	5.8	4.3	3.6	6.4	4.2	5.1	5.8	4.1	5.9	4.9	4.4	8.8	63	
	H21実績値	7.3	8.0	7.2	6.6	5.2	6.7	6.8	7.5	5.4	3.7	3.8	11.8	80	
3. 総排水量	H20実績値(m3)		151.0		209.0		165.0		197.0		144.0		122.0	988	
	H21実績値		134.0		160.0		165.0		166.0		190.0		114.0	929	
4. 印刷用紙量	H20実績値(kg)	315	1,040	1,008	315	1,564	1,659	650	950	821	714	698	990	10,725	
	H21実績値	421	1,200	1,100	400	1,580	1,720	630	735	1,050	525	525	525	10,411	